

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和59年9月21日 第24報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	180		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	100		
(珪) <i>Gyrosigma acuminatum</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	5760	◎	◎
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	320	○	
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	80		○
(緑) <i>Staurastrum</i> sp.	80		
(藍) 藍藻綱	180	2.7	0.8
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	140	2.1	10.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	1.2	1.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	6240	94.0	87.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	6640	総体積	1.10E+07
種類数	9	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	5760

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Coelastrum cambricum</i>	320

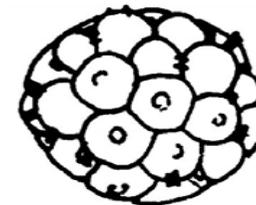
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Coelastrum cambricum
(ケラスツルム)
緑藻綱

シノピウムは球形であり、たいてい32細胞からなる。各細胞は外方に向かって1本の短い台形の突起を出している。